

「矢巾町立学校の再編に関する基本方針」策定に係るアンケート等結果について

1 目的

町民及び保護者の方の学校教育環境に関する考えを把握し、もって「矢巾町立学校の再編に関する基本方針（「矢巾町立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」から名称変更）策定に資する。

2 結果

(1) パブリックコメントについて（矢巾町パブリックコメント実施要綱に基づいて実施）

- ① 実施期間 令和5年5月15日（月）から令和5年6月14日（水）の31日間
- ② 意見等の提出 0件

(2) 保護者対象のアンケートについて

- ① 対象及び対象者数 小中学生の保護者（1,439人）、園児の保護者（634人）
- ② 実施期間 令和5年7月18日（火）から令和5年8月18日（金）の32日間
- ③ 回答数等 小中学生の保護者（1,256人 87.3%）、園児の保護者（257人 40.5%）
- ④ アンケート内容 別添資料のとおり
- ⑤ 結果の概要

1 あなたの年代を教えてください。

年代	20代以下	30代	40代	50代	60代	計
回答数	73人	540人	773人	125人	2人	1513人
回答率	4.8%	35.7%	51.1%	8.3%	0.1%	100.0%

2 あなたのお住まいの小中学校区を教えてください。

学区	徳田小	煙山小	不動小	矢巾東小	計
回答数	170人	578人	201人	564人	1513人
回答率	11.2%	38.2%	13.3%	37.3%	100.0%

3 あなたのお住まいの中中学校区を教えてください。

学区	矢巾中	矢巾北中	計
回答数	700人	813人	1513人
回答率	46.3%	53.7%	100.0%

4 本町における今後の学校教育の在り方を検討するうえで、力を入れて取り組んでいく必要があると思われるものを選んでください。（複数回答可）

選択項目	回答数	回答率
グローバル化に対応した外国語教育	777	51.4%
コンピュータ、ICT等を適切に活用できるようにする情報教育	930	61.5%
社会性、道徳性及び規範意識を育む心の教育	947	62.6%
体力向上や健康の保持増進を図る教育	702	46.4%
職業観・勤労観を育むキャリア教育	561	37.1%
多様な発達特性に応える特別支援教育	482	31.9%
自然愛護や環境保全の意識・態度を育む教育	391	25.8%
安全・安心な社会づくりに参加し貢献できるようにする防災教育	501	33.1%
伝統・文化を尊重し郷土を愛する教育	317	21.0%
社会を逞しく生きるため自立した消費者を育成する消費者教育	404	26.7%
その他	30	2.0%

その他（主な内容）	件数
・情報教育 関係	1
・心の教育 関係	10
・キャリア教育 関係	1
・自然愛護・環境保全教育 関係	1
・防災教育 関係	1
・消費者教育 関係	6
・真の子供の為の教育	1
・学力向上、基礎学力の定着・学ぶ意欲を醸成する教育	5
・自己肯定感を育み失敗を恐れず挑戦する柔軟な考えができるような教育	1
・その他	3

5 今後の矢巾町の学校教育の在り方を考えるうえで（※4）を実現するためには、子供たちにとってどのような教育環境が必要と思われますか。（以下から3つ以内で選んでください。）

選択項目	回答数	回答率
子供たちが集団の中で切磋琢磨できる環境	448	29.6%
子供たちのコミュニケーション能力を伸ばすことができる環境	1008	66.6%
子供たちが多様な考えに触れ、お互いに認め合うことのできる環境	1015	67.1%
固定化された人間関係を解消するためクラス替えができる環境	195	12.9%
集団の中でいろいろな役割分担を経験できる環境	394	26.0%
多様な学習形態の授業指導を受けることができる環境	579	38.3%
小人数できめ細やかな指導を受けることができる環境	344	22.7%
その他	12	0.8%

その他（主な内容）	件数
・集団の中で切磋琢磨できる環境 関係	2
・多様な考えに触れる環境 関係	4
・多様な学習形態の授業指導環境 関係	3
・小人数指導環境 関係	1
・学校・地域・保護者が連携する環境	1
・児童よりまずは教職員が社会性道徳性に差がない環境	1

6 今後の矢巾町の学校教育の在り方を考えるうえで、(※5)の教育環境の整備のためには、どのようなことに取り組むべきと考えられますか。(以下から3つ以内で選んでください。)

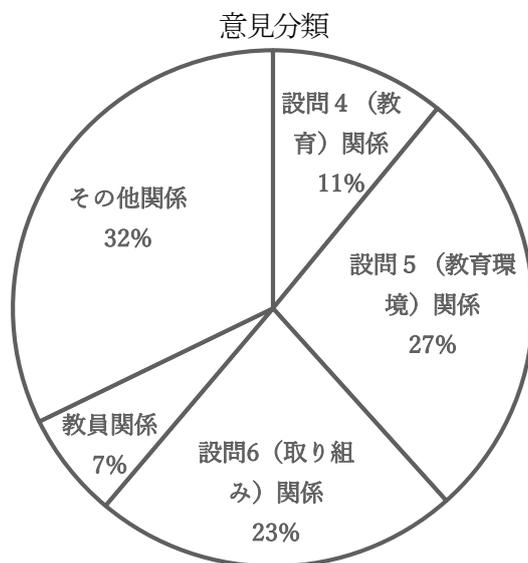
選択項目	回答数	回答率
小・中学校の9年間を見通した小中一貫教育の推進による中1ギャップ等の解消	451	29.8%
児童生徒の交流活動や交流授業を共同開催することによる、児童生徒の自己有用感の醸成	605	40.0%
部活動の在り方、部活動における地域との協働の検討	568	37.5%
安全・安心な通学環境の確保	749	49.5%
小学校区の見直しにより児童数の偏りの解消	381	25.2%
地域コミュニティの在り方の検討	206	13.6%
地域と協働する学校運営(コミュニティ・スクール)の在り方の検討	224	14.8%
児童館の在り方の検討	135	8.9%
その他	35	2.3%

その他(主な内容)	件数
・安心・安全な通学環境の確保 関係	1
・学校運営(コミュニティ・スクール)の在り方の検討 関係	1
・地域と学校、行政の連携、地域の見守り、片親の負担軽減	1
・学級にフォローに入る大人を増やすこと	1
・多様性を認め合うお手本となる教員、指導員の育成	1
・不登校・特別支援が必要な児童生徒に対する学びの場、環境の充実	1
・父母等養育者の孤立化解消のためのコミュニティや施設の設置	1
・矢巾町の良さを活かしたゆとりのある教育	1
・先生の質の向上、指導力の向上	3
・児童生徒間の交流だけでなく、広い視野を持てる教育	2
・全国的な好事例の収集と町政への反映	1
・世代の隔たりを解消する取り組み、他人に関心を持つ取り組み	1
・街灯の数を増やすこと	1
・医師やスクールカウンセラーとの積極的な連携	1
・保護者の学校教育への意識改革	1
・LGBT、ヤングケアラー、ワーキングプアなど多様性への理解、制服の変更など	4
・潤沢な予算	1
・教員の人数を増やし、きめ細やかな指導や対応ができること	1
・若い世代や民間の意見をしっかり取り入れること	1
・日本以外の文化との交流	1
・少人数学級制、教員の業務負担軽減	2
・学校と家庭連携強化のための情報共有の頻度増加	1
・親への負担軽減	2
・いじめや偏見差別がなくなる、自殺者がいない学校づくり	1
・個々の学力に応じたカリキュラム	1
・地域の先進企業を知る機会を作ること	1
・学校の先生方が子どもたちへの教育に集中できる環境づくり	1

7 その他、新しい時代“令和の”「時代を切り拓き、時代につながる人づくり」を実現する矢巾町立小中学校の在り方に関する御意見・御要望があれば、御記入ください。

回答者数：211 件

※共通した内容と考えられる御意見・御要望については、件数をお示ししています。



設問4 (教育) 関係 主な内容	件数
◆外国語教育 関係 ・福井県や群馬県のように英語に力を入れて欲しい ・中学三年間で日常会話ができるレベルの語学力が身に付くカリキュラムを矢巾町独自に実践してはどうか ・英語に触れあう機会を増やすとよい	8
◆情報教育 関係 ・ソーシャルコミュニケーションも含めた道徳や適切な取り扱い方法の指導が必要 ・学習用端末を学習に取り入れているところが時代にあったすばらしい学習方法	4
◆心の教育 関係 ・豊かな人間性が育まれる環境を様々な視点から整えて行ってほしい ・道徳や倫理観の考え方の教育が必要	3
◆特別支援教育 関係 ・どのような特徴のある子（発達障害等含）も有効な学習ができる環境の提供 ・発達障害に対する教員の理解とペアレントトレーニングの実施	2
◆消費者教育 関係 ・お金の知識を身につけてほしい ・生活で接する税制の仕組みについて知ることが成人になってから有効になると思う	2
◆その他 ・小中学生のうちに郷土について学んでほしい ・個人の能力を伸ばせる様な教育が素敵だと思います	4
計	23

設問5（教育環境）関係 主な内容	件数
<p>◆コミュニケーション能力を伸ばす環境 関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化していくなかでコミュニケーション力は必須であり環境を整備する必要がある ・他者とのコミュニケーション能力が向上する環境 	5
<p>◆多様な考えに触れる環境 関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LGBTについて積極的に取り組んでほしい ・いじめのない学校生活を送れたらと思います ・個性を排除しない教育現場であって欲しい ・やらなければならないよりもやりたいを尊重してあげること ・自ら考え行動でき、善悪の判断が出来るようにしていきたい ・固定概念を無くす、古い考え方に固着しない、偏見・差別を無くす 	23
<p>◆多様な学習形態の授業指導環境 関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不來方高校との交流授業は継続希望 ・個性を大切にされた環境や授業 ・職業体験や企業見学できる環境 中学生にアルバイト経験させる活動 ・子供たちの意見を取り入れ、各々が自由に学べる環境 ・国際交流の幅をもっと広げてほしいと思う 	18
<p>◆少人数指導環境 関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数、ステップアップ方式などの学級運営 ・少人数学級で学力の差をなくす 	3
<p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学区や学年を取り払い自由に行きたい学校、学びたいことを選べる ・矢巾町の文化に触れる機会を増やす ・部活動等、小学校から取り組んできたスポーツを続けられる環境 ・授業の中でしっかり学び、自宅では遊びや家族とのコミュニケーションを 	9
計	58

設問6（取り組み）関係 主な内容	件数
<p>◆交流活動や交流授業 関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中の連携をしっかりと行ってほしい ・小中学校間の交流は定期的に行ったほうが良い 	3
<p>◆部活動の在り方 関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やりたい部活動がない時、違う中学校に部活動だけ参加できるようにする ・矢巾町内の中学生は実質部活動に強制参加なのが理解できない 	4
<p>◆安全・安心など通学環境の確保 関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全生徒がスクールバスで通学できることを希望 ・小中学生が安全に通学出来る歩道、横断歩道の確保をお願いしたい ・西徳田から中学までの通学路が危険な所が多いのでなんとかしてほしい 	8
<p>◆小学校区の見直し 関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員持ち上がりとならない学校あるので、環境変化や友人関係が大変 ・煙山小学校吹奏楽部が中学校に上がっても中学校を半分に分けないように ・新しい住民が増加することを考え、早めに学区の見直しを進めてほしい ・小学校の統合による複数クラス要望 ・学校数は減らさずに家の近くで就学できると良い 	18
<p>◆地域コミュニティの在り方 関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化もあり行政区によっては子供会の運営が難しいため、改革が必要 ・通学時の交通指導など、地域の特定の方の好意に甘えている 	5
<p>◆学校運営（コミュニティ・スクール）の在り方の検討 関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域が連携を図って、子育てに当たれる矢巾町になってほしい ・コミュニティースクールの活性化で地域と協同、連携をより高めていってほしい 	4
<p>◆児童館の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質の偏りがあるため、管理者が積極的に関わることを期待する ・安心して働くには、三年生以降も学童保育を充実してほしい 	4
<p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館一択となっている家庭にも、習い事の機会を与えてあげられる様に ・小学校ではスポ少や習い事に置いて、過疎地は送迎なしでは参加できない 	2
計	48

教員関係 主な内容	件数
◆教職員の育成、増員 <ul style="list-style-type: none"> ・学校や教育現場に関わる意識改革・現場改革が必要 ・恐怖心で子どもが委縮してしまうような指導を改善してほしい ・教師により指導の偏りが大きく、学校側の方針が共有されているのか疑問である ・教師により指導力、指導方針に偏りが無いよう学校全体がレベルアップすること ・新しい知識、情報を取得できるような学校環境、教師の知識向上に努めてほしい ・先生と生徒の信頼関係が築けるための環境づくりが必要と思う ・しっかりとした予算・教職員・事務職員の要員確保 	14
計	14

その他関係 主な内容	件数
◆アンケートのご感想 <ul style="list-style-type: none"> ・質問、選択が難しい ・世の中の声が反映されないのでは、期待していない ・”なんとなく良さそう”な回答を選ぶ傾向になることを危惧する 	6
◆学校規則の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・夏はジャージ登校可にしてほしい ・今の時代にあった学校の規則への見直しをしてほしい 	2
◆学校設備の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・未来の担う子どもたちへの投資が足りない ハード面の整備 楽器の無償貸与 ・設備は新しくするべき トイレだけでも直ぐに改善すべき 	3
◆保護者の負担軽減 <ul style="list-style-type: none"> ・共働き世帯の増加と負担増に配慮したPTAの運営 ・通学距離が5キロあります 交通費負担が大きいです ・半強制的な子供会の活動の再検討を願います 	6
◆その他 ※記号や空欄を含む <ul style="list-style-type: none"> ・小さい頃から互いを認めあえるように家庭でも学校でも連携を ・保護者も巻き込んだ取り組みが必要 先生の負担を配慮 ・人材育成や教育にお金をかける町であってほしい ・温水プールや公園、広場など子供たちが子供らしく遊べる場所が矢巾にない ・子供が子供らしくいられるような場所を町の施設や体験として提供してほしい 	51
計	68

3 「矢巾町立学校の再編に関する基本方針」策定スケジュール

令和5年9月

○「矢巾町立学校の再編に関する基本方針」策定に係るアンケート等結果の集計

○総合教育会議

・上記アンケート等分析結果の報告

・「矢巾町立学校の再編に関する基本方針」策定に係る方向性の協議

令和5年10月

○「矢巾町立学校の再編に関する基本方針」(案)の策定

○第8次矢巾町総合計画「基本構想」及び「前期基本計画」(第1案)の検討

令和5年11月

○「矢巾町立学校の再編に関する基本方針」(案)の協議(教育委員会協議会)

○第8次矢巾町総合計画「基本構想」及び「前期基本計画」(第1案)の協議(教育委員会協議会)

○第8次矢巾町総合計画「基本構想」及び「前期基本計画」(第2案)の検討

令和5年12月

○「矢巾町立学校の再編に関する基本方針」の決定(教育委員会会議)

○第8次矢巾町総合計画「基本構想」及び「前期基本計画」(第2案)の協議(教育委員会協議会)

令和6年1月

○議会全員協議会において「矢巾町立学校の再編に関する基本方針」を報告

○「矢巾町立学校の再編に関する基本方針」の公表